

2021年10月18日

IoT向けソリューションを強化 上り特価プラン、パブリッククラウド接続・閉域網接続メニューを拡充 ～「Smart Data Platform」のデータ収集機能を多様化～

NTTコミュニケーションズ(以下 NTT Com)は、お客さまのDXへの貢献および Smart World の実現に向けて、シームレスな IoT 環境を提供するため、「Smart Data Platform」※¹ (以下 SDPF) のIoT向けソリューションを強化します。

これにより、大容量の IoT 向けデータ通信を安価にご利用いただけるとともに、さまざまなクラウドサービスやネットワークサービスと柔軟かつセキュアに接続することが可能となります。

1. 背景

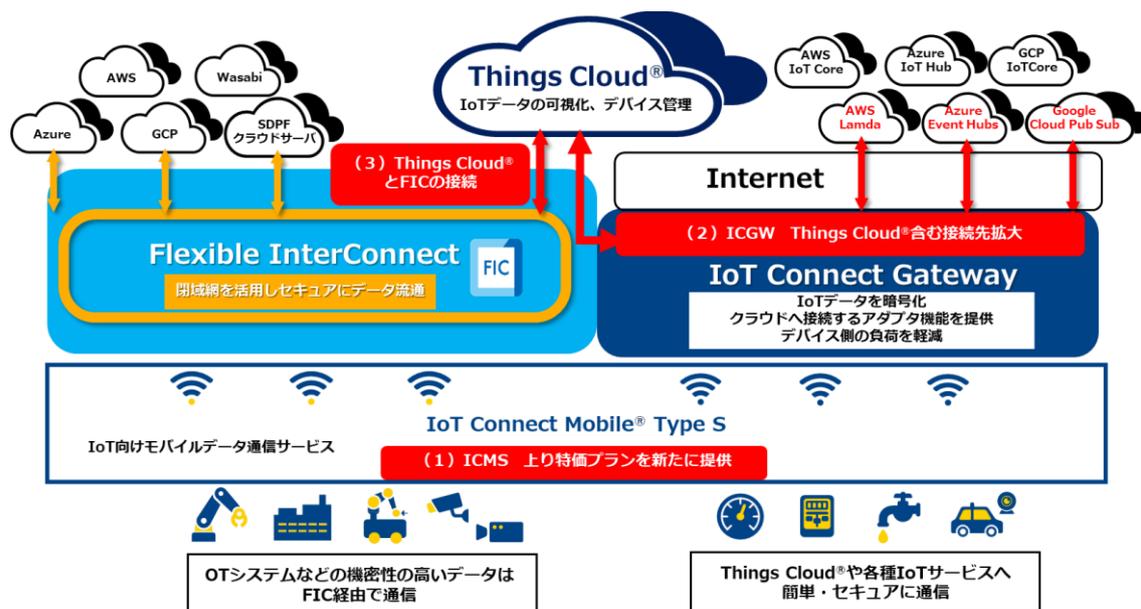
NTT Com はこれまでデータ活用基盤「Smart Data Platform」の提供を通じ、点在するデータを1つのプラットフォーム上でシームレスに収集・統合し、お客さまのDX実現を支える基盤の提供を行ってきました。

IoT分野においては従来のセンサーなどの小容量データだけではなく、各地に散在する映像・画像などの大容量データの利用が活発になっています。また、IoTの利用用途の拡大に伴い、複数のクラウド環境を連携させながら機密データなどを安全に収集・蓄積・分析し、そのデータを監視・制御・予測などに活用したいというニーズが高まっています。このような背景から、IoTの導入を簡単に開始し、ビジネスの進展に応じて拡張できる柔軟なIoTサービスが求められています。

NTT Com は、これらのニーズに対応し、お客さまが快適にご利用できるビジネス環境のために、マルチクラウドに対応し、セキュアかつオールインワンでIoTソリューションを提供するデータ流通モデルの実現を目指しています。

2. 拡充する機能

今回「SDPF」のIoT向けソリューションに3つの機能を拡充させることにより、IoT導入に必要な大容量データ通信を安価にご利用いただけるようになるとともに、マルチクラウドへの接続やデバイス設定の簡略化、セキュアな閉域網での通信・暗号化、データの収集/見える化までオールインワンでご活用いただくことが可能となります。



(1) 「IoT Connect Mobile® Type S」^{※2}に「上り特価プラン」を追加

「IoT Connect Mobile® Type S」(以下 ICMS)において、上り中心の大容量データ通信を安価にご利用いただける上り特価プランを追加します。本プランは上りが最小 3GB から、最大 500GB まで対応しており、お客さまの用途に合わせて料金プランの選択が可能です。これにより、コストを抑制しながら映像や画像などの大容量データの収集が可能となります。

料金プラン名	上り上限容量	下り上限容量	月額料金 (税抜)	月額料金 (税込)
上り特価プラン (上り3GB、下り500MB)	3GB	500MB	1,020円	1,122円
上り特価プラン (上り3GB、下り1GB)	3GB	1GB	1,300円	1,430円
上り特価プラン (上り50GB、下り500MB)	50GB	500MB	1,770円	1,947円
上り特価プラン (上り50GB、下り1GB)	50GB	1GB	2,050円	2,255円
上り特価プラン (上り100GB、下り500MB)	100GB	500MB	3,020円	3,322円
上り特価プラン (上り100GB、下り1GB)	100GB	1GB	3,300円	3,630円
上り特価プラン (上り150GB、下り500MB)	150GB	500MB	4,220円	4,642円
上り特価プラン (上り150GB、下り1GB)	150GB	1GB	4,500円	4,950円
上り特価プラン (上り300GB、下り500MB)	300GB	500MB	6,620円	7,282円
上り特価プラン (上り300GB、下り1GB)	300GB	1GB	6,900円	7,590円
上り特価プラン (上り500GB、下り500MB)	500GB	500MB	8,920円	9,812円
上り特価プラン (上り500GB、下り1GB)	500GB	1GB	9,200円	10,120円

(2) マルチクラウドに対応する「IoT Connect Gateway」^{※3}の接続先の拡大

IoT デバイスの負荷や設定作業を軽減する機能を兼ね備えたサービス「IoT Connect Gateway」(以下 ICGW) の接続先を拡大します。

NTT Com が提供する IoT プラットフォームサービス「Things Cloud®」^{※4}をはじめ、Google Cloud Pub/Sub^{※5}、Azure Event Hubs^{※6}、AWS Lambda^{※7} など、お客さまがご利用のさまざまなパブリッククラウドへ接続が可能となります。接続可能なパブリッククラウド

ドへの接続時に必要となる認証情報などをネットワーク側で一括して設定／管理できるため、多拠点に分散する大量デバイスで構成される IoT システムでも簡単かつ柔軟に構築・運用することができます。

IoT Connect Gateway 対応メニュー／接続先サービス		
メニュー	①プロトコル変換機能	②クラウドアダプタ機能
スタンダード	HTTP→HTTPS MQTT→MQTTS	Google Cloud IoT Core、AWS IoT Core、Azure IoT Hub Things Cloud
	HTTP→HTTPS	汎用HTTP/HTTPSサーバ
イベント	HTTP→HTTPS	Google Cloud Pub/Sub、Azure Event Hubs
ファンクション	HTTP→HTTPS	AWS Lambda

赤字：今回追加となったクラウドサービス／接続先サービス

(3) 「Things Cloud®」の接続先を拡充

「Things Cloud®」を「Flexible InterConnect」※8（以下 FIC）と接続します。これにより、ICMS および閉域網などのネットワークサービスとセキュアな接続が可能となります。

また、FIC と接続するさまざまな XaaS と連携可能となります。「Things Cloud®」で収集したデータを、「SDPF」のストレージサービスや各種クラウドへデータ蓄積し、AI アプリケーションを活用することで、柔軟なデータ連携、データ加工、見える化、分析が可能となりお客さまに最適なハイブリッド/マルチクラウド環境の実現をオールインワンでご提供します。

3. 提供開始日

- | | |
|---|-------------|
| (1) 「IoT Connect Mobile® Type S」に「上り特価プラン」を追加 | 2021年10月20日 |
| (2) 「IoT Connect Gateway」の接続先を拡大 | 2021年10月18日 |
| (3) 「Things Cloud®」の FIC 接続 | 2021年10月18日 |

4. 利用料金・お申し込み方法

詳細は、「本件に関するお問い合わせ先」もしくは NTT Com 営業担当までお問い合わせください。

5. 今後の展開

今後、NTT Com はお客さまシームレスな 5G・IoT 環境をご提供することを目的として、「SDPF」の IoT 向けソリューションにおけるエッジコンピューティング、認証認可、オーケ

ストレージなどの機能を強化します。また、お客さまのユースケースに応じて、これらの機能群を自在に組み合わせた 5G・IoT に関するコンポーザブルなサービス・ソリューションの提供を行い、お客さまの DX に貢献していきます。

NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X™」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICT サービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステナブルな未来の実現に貢献していきます。

Re-connect X™

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※1：「Smart Data Platform」とは、データ利活用に必要な収集・蓄積・管理分析におけるすべての機能を、ICT インフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用による DX 実現を加速させるプラットフォームです。詳しくは下記 Web サイトをご覧ください。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

※2：「IoT Connect Mobile® Type S」とは、eSIM・フルMVNOの基盤を活用し、日本とグローバルで利用可能なIoT向けモバイル通信サービスです。

<https://www.ntt.com/business/services/network/iot/icms.html>

※3：「IoT Connect Gateway」とは、IoTのセンサーデバイスなどから収集したデータのクラウドへの接続を簡単・セキュアにクラウド接続できるゲートウェイサービスです。

<https://www.ntt.com/business/services/data-utilization/dxplatform/sdpf/icgw.html>

※4：「Things Cloud®」とはデバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理などIoTの導入に必要な機能・プロセスを、ノンプログラミングで簡単・短期間に実現できる機能やテンプレートを提供するIoTプラットフォームです。

<https://www.ntt.com/business/services/ai-iot/iot/things-cloud.html>

※5：Google Cloud Pub/Subとは、Google Cloud Platformが提供するメッセージングサービスです。

※6：Azure Event Hubsとは、Azureが提供するメッセージングサービスです。

※7：AWS Lambdaとは、Amazon Web Servicesが提供するサーバーレスコンピューティングサービスです。

※8：「Flexible InterConnect (FIC)」とは、クラウドサービスやデータセンターなどを広帯域の閉域網で

繋いだネットワーク接続基盤で、さまざまな ICT リソースへの安定・セキュアな接続を実現する NTT Com のサービスです。また「FIC」は、「Smart Data Platform」におけるインターコネクト機能を提供しています。

*記載されている会社名、サービス名および商品名は、各社の登録商標または商標です。